

2014.06.22 saveMLAK 報告会 2014

さくら works (横浜会場) / エル・ライブラリー (大阪会場)

# saveMLAK 2013 年度 Museum の活動

あこたかゆき @ta\_niiyan (Twitter)

# 収録件数（2014.6.21 現在）

	収録施設数	被害数
2011/6/8	5543 館	135 館
2012/6/11	5427 館	195 館
2013/6/29	5540 館	201 館
2014/6/21	5540 館	201 館

※新規の施設・被害登録はなし



ML を通じて呼びかけをさせていただけました選書協力では、入館者に配布されます『ものがたりノート』に『協力: saveMLAK』と掲載されました。

あなたなら、この問いに  
どう答えるのか!?



**ものがたりをはしめる前に**

すべてのものには「終わり」があります。人の一生も、自然も、文明も、そしてかつては永遠に存在すると考えられていた宇宙さえも、やがて終わりを迎えます。「終わり」は世界の必然であり、すべてのものに潜んでいます。にもかかわらず、私たちは忙しい毎日の



中で、「終わり」に向かい合うことなく、日々を過ごしてしまっています。2011年3月11日に発生した東日本大震災は、私たちの「今」を変えているものが

いかに急うく、新しいものであるが明らかになったできごとでした。その事実から2年半を経た今、私たちは遠ざけてきた「すべてはいずれ終わる」という真実を踏まえ、人はなにを大切に生きていくべきか、人はなにを未来に残すことができるのかを、改めて問いつつ時期にきているのではないのでしょうか?

この展覧会は、昨年に日本科学未来館で開催された企画展「世界の終わりの

ものがたり」もは忘れられない73の

問い」を元に再構成されています。

さまざまな観点から投げかけ

られる25の問いと図書館司書

が選んだ100冊の「本」をヒント

として、一人ひとりが「終わり」

「始まり」「わたし」「未来」に向き合うことで

見えてくる、自分なりの「終わりから始まる

新たな希望のものがたり」をぜひ体感ください。



〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 Tel. 03-3502-3340 (代)  
アクセス: 東京メトロ丸の内線・日比谷線・千代田線「日比谷駅」C4・B2出口  
より徒歩5分、都営地下鉄三田線「内幸町駅」A7出口より  
徒歩3分、有「新大塚」日比谷公園駅より徒歩12分  
※当館には専用の自転車庫がございません。  
お車でご来館の際は近隣駐車場をご利用下さい。

<http://hibiyal.jp>

**展覧会の楽しみかた**

「世界の終わりを想像したことがありますか?」「生きていられる間に何にやりてみたいことはありますか?」会場に一歩足を踏み入れると、次々に「問い」が隠れます。これらをもくもく読みながら、回答の手がかりとなる言葉や本が提示されます。一冊一冊について、自分の胸に問いかけたり、本をパラパラとめくったり、その場で回答を書き下したり、ほかの人々の回答をくらべてみたり、あるいはともに読んだ友人や家族と語り合ったり……森の中を散策するようにゆっくり会場を歩き、自分のなかにある答えを探してみてください。また、館内にもいくつかの「問い」が隠れています。そちらも併せてお楽しみください。



**関連イベント**

**ワークショップ**

「終わりのカラー～色からものがたりをつくる～」

8月18日(日) 14:00-16:00 (受付13:30)

会場: 4階小ホール (スタジオプラス)

講師: 丸山誠司 (脚本作家、イラストレーター)

対象: 小中学生 (保護者同伴可)

定員: 20名 (先着順、定員になり次第締切) 参加費: 2,000円

持ち物: ハサミ、ノリ、ホチキス、クレヨンまたはカラーペン



**トークイベント**

「Dとつのお祭、ひとつの生命～音楽のはまりと終わりをめぐって」

9月14日(土) 12:00-13:30 (受付11:30)

講師: 小田純一 (音楽・文芸批評家、早稲田大学教授)

会場: 4階小ホール (スタジオプラス)

定員: 60名 (先着順、定員になり次第締切)

参加費: 500円 (千代田区民無料)

展覧イベントの申込は、Tel. 03-3502-3340 /

E-mail: [college@hibiyal.jp](mailto:college@hibiyal.jp)

会場申しつけは展覧イベントの開催を予定しています。

詳細は日比谷図書館文化館HPをご覧ください。



# 東京都立産業技術高等専門学校

## 日比谷図書文化館開催展との 連携企画展示の実施

目的：ものづくりスペシャリストを育てる学校として、現代社会が抱える諸問題を考える。

期間：平成25年7月26日（金）～  
平成25年10月25日（金）

<http://www.metro-cit.ac.jp/library/oshirase/d10/8/636>

# 職業体験ボランティアの実施

目的：展示室内のナビゲート業務を行うなどの職業体験により、将来の可能性を広げる。

期間：平成25年8月21日～8月27日

# コクダイマルケン

「協働のススメ：つながる・つなげるライブラリアンを目指して」



阿児が話題提供として登壇  
「mLa が魅せる大学の姿」

[http://www.janul.jp/j/regional/tokyo/janul\\_promotion/promotion\\_tokyo.html](http://www.janul.jp/j/regional/tokyo/janul_promotion/promotion_tokyo.html)

# ◆2014 年度は！

復興への歩みを記録

- ・館別収録情報の更新

→うきうき wiki 祭り

- ・復興展示をお知らせ

→見学会の企画